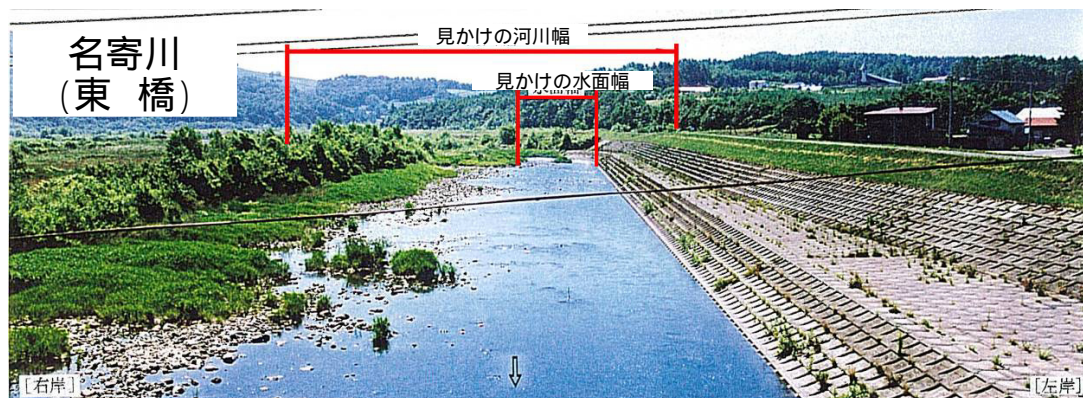


人目に触れる機会の多い地点を選定し、見かけの河川幅に対する見かけの水面幅が占める割合が2割以上あれば流量感が豊かであるとの心理実験結果を引用し、水面幅を確保するために必要な流量を算出。

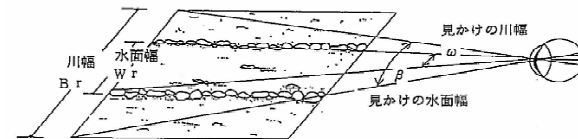
名寄川 東橋の場合



写真は必要な流量 $4.1\text{m}^3/\text{s}$ の時ではない

【みかけの河川幅(B)とみかけの水面幅(W)】

見かけの河川幅、みかけの水面幅とは、実際の河川幅と水面幅をみたときの角度 θ に対応する。



検討地点		必要な流量 [m^3/s]
天塩川	小車大橋	19.7
名寄川	東橋	4.1

参考資料：『みかけのW/Bの求め方(「正常流量検討手引き(案)」参考資料)建設省河川局河川環境対策室』(平成4年6月)

「水環境管理に関する研究(建設省河川局河川計画課河川環境対策室・建設省土木研究所、第44回建設省技術研究会報告(1990))」